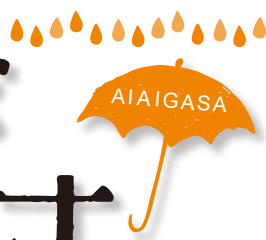


始良市議会だより

あ い あ い が さ



9月
定例会
No.52

令和5年11月30日発行



p2

補正予算

p7

市民目線で14人が市政を質す ただ

p12

議員研修

p16

漆バラ踊り

秋空

38万4千円を賛成多数で可決!

5号補正予算(専決)

◎現年耕地災害復旧事業 1,816万8千円

- 水路崩壊、路肩崩壊等20カ所
- 公共災害の測量、設計9カ所

◎現年林道災害復旧事業 835万円

- 崩土除去等11カ所

◎現年土木施設災害復旧事業 8,530万円

- 崩土除去等32カ所、公共災害の測量、設計2カ所



6号補正予算

DX化の一環事業

◎市公式LINE構築委託料 141万9千円

議員間討議

- 市民が享受できるよう環境整備と誰一人取り残さないよう進めるべき。
- ホームページの充実が不可避である。
- 道路不備などの通報システムの充実を図るべきである。



子ども館の施設整備に

◎子育て支援拠点施設整備事業 1,210万6千円

議員間討議

- 水漏れ防止のシートパイル工事をインプレスライド条項とセットで、補正を組んだことに疑問を感じる。
- インプレスライドについては、しっかり内容を精査する必要がある。
- 工事については施行者、設計者、施工管理者が責任を取るべき。



5号補正予算(専決) 1億1,340万8千円

6号補正予算 1億7,247万6千円

7号補正予算 8,450万円

総額 **3億7,0**

6号補正予算

現行システムの改修委託料(制度改正に伴う)

◎**重度心身障害者医療費助成事業** **110万円**

アドバイザー業務委託料

◎**学校給食施設整備事業** **818万4千円**



議員間討議

- PFI事業に関連し学校給食のアドバイザー契約については、実施方針から事業契約まで市に責任があることが確認できた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

◎**学校給食物価高騰対策食材購入事業** **3,207万8千円**

- 児童生徒7,384人の1食単価に上昇見込み分18%を補助

公園用具の修繕に

◎**公園維持管理事業** **770万円**



高速道路下トンネルにLED照明器具設置

◎**街路灯設置維持事業** **17万3千円**

災害時の指定避難所に排泄等の資機材購入

◎**避難所運営事業** **520万円**

7号補正予算

新たな公共土木施設復旧(河川災害2件、道路災害1件)に

◎**現年土木施設災害復旧事業** **7,950万円**



例 一般廃棄物の処理・清掃に関する
条例改正

物価高騰に伴い、指定ごみ袋の製造原価費も上昇しています。

また、ごみ収集運搬及び焼却に係る処理費用も増加しています。そこで安定的なごみ処理を確保するため、物価高騰に伴う費用増額分を袋1枚あたりに上乗せする改正です。

可決 賛成21 反対2



1枚2円値上げ(令和6年4月1日から)

契約 本庁舎工事請負変更

ウクライナ問題による原料の高騰や労務単価の変動など様々な要因が重なり、建築コスト・プライスが急上昇したことから、工事請負契約書第26条第6項を適用し契約を変更するものです。

▼主な質疑

問 どの位の価格変動が生じたのか。

答 鉄筋工事や鉄骨工事で約13%上昇しており、他にもコンクリート工事や塗装工事が約8%、ガラス工事が約10%上昇しています。

▼追加金額

- ・庁舎新築工事……………2億2212万6千円
- ・電気設備工……………3755万2千円
- ・給排水衛生設備工事……………2164万8千円
- ・空調設備工事……………2502万2千円

可決 賛成21 反対1

請願 「蒲生町の学童施設拡充、又は新設をしてほしい」に関する請願書

請願者 蒲生町学童施設拡充推進委員会

代表提出者 瀬戸 義信

紹介議員 国生 卓

和田 里志

笹峯 桜

▼趣旨

蒲生地区には学童施設が1か所しかないが、令和5年4月以降、3年生以上の受け入れが不可となった。

希望する6年生までの児童が学童に入れるよう、現在の学童施設の拡充または新設、他地域を含む隣接する別の学童施設の拡充等と、その場合の小学校から学童施設までの安全な移動手段の確保を請願する。

採択 全員賛成



請願

「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書

請願者 かごしま子ども学び場友の会

代表提出者 戸塚 晶子

紹介議員 有川 洋美

趣旨

不登校児童生徒にとって安心して学びを継続している居場所として、重要な選択肢であるフリースクール。しかし、利用する際に家庭や当事者の経済的な負担が大きい等の問題がある。また、多様な学習機会を提供する民間施設への需要が高まっているのに対し、経済的な支援制度を制定している自治体は一部にとどまっている。いわゆるフリースクール等民間施設の設立及び運営補助金等の経済的支援制度の確立を講じること等、国の関係機関への意見書提出を請願する。

採択

全員賛成

▼意見書提出

『不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書』を提出しました。

陳情

始議第374号により開示された下記件名の文書について(工事請負契約の締結に関するお願い)

陳情者 佐藤 一義

▼趣旨

令和4年9月26日に、始良市建設同志会ほか5団体から連名で、議会宛てに「工事請負の締結に関するお願い」という、始良市加治木複合新庁舎建設工事に関する工事請負契約案件について、議会での可決を求める文書が提出された。当該文書作成の意図、この文書に対する議会の見解・対応・処置と経緯等の説明を求めるほか、地元業者育成を図る観点から議会としても条例制定等を含め、行政・議会・業界が一体となった努力を期待し陳情する。

▼審査の経緯

新庁舎建設とまちづくり特別委員会にて陳情者からの説明を受け質疑を行いました。

議員間討議では「市民にしっかりと議会としての対応を示す必要がある」「これまで高圧的に感じる請願や陳情の文書はなかったと考えるが、お願い文書だからこそ中身を精査する必要がある」などの意見が出ました。

本会議にて賛成多数で採択されました。

採択

賛成18名 反対5名

▼反対討論 益森 隆史 議員

陳情者が挙げた質問内容の中で、議会として回答できることについても回答していないため反対とする。

▼動議の提出 小田原 優 議員

「通常の特別委員会での調査には限界がある。更なる調査を行うため、地方自治法第100条の規定により強い調査権限を持つ調査特別委員会の設置を求める。」

以上の動議が出されましたが、賛成少数で否決されました。

陳情

「別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する意見書の提出を求める陳情書」は、令和5年第2回定例会に提出され、継続審査としていました。

今定例会にて賛成多数で採択し、国に意見書を提出しました。

採択

賛成21名 反対2名



9月定例会



ではこんなことが決まりました！

●議案ごと賛否一覧表

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計	
		宇都陽一郎	湯元秀誠	塩入英明	益森隆史	笹峯桜	馬場修二	国生卓	森川和美	桃木野幸一	和田里志	小田原優	峯下洋	岩下陽太郎	犬伏浩幸	松元卓也	萩原哲郎	新福愛子	竹下日出志	大坪祐輔	上村親	有川洋美	堀広子	谷口義文	小山田邦弘	賛成	反対
60	専決処分について承認を求める件 (令和5年度始良市一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
61	始良市一般廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	2	
62	始良市火災予防条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
63	令和5年度始良市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	19	4	
64	令和5年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
65	令和5年度始良市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
66	令和5年度始良市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
67	工事請負変更契約の締結に関する件 (始良市役所本庁舎新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	
68	工事請負変更契約の締結に関する件 (始良市役所本庁舎新築電気設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	
69	工事請負変更契約の締結に関する件 (始良市役所本庁舎新築給排水衛生設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	
70	工事請負変更契約の締結に関する件 (始良市役所本庁舎新築空調設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	
80	令和5年度始良市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
請2	「蒲生町の児童施設拡充、又は新設をして欲しい」に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
請3	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
陳4	別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	21	2	
陳5	始議第374号(令和4年10月18日)により開示された下記件名の文書について(工事請負契約の締結に関するお願い)	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	18	5	
発4	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
発5	別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する意見書	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	21	2	

※議長は表決に参加しない



国生 卓
志成会



市長
来庁者の利便性の向上を
指している

蒲生複合新庁舎建設の 検討状況は

問 基本設計は、ワークショップ、地域懇話会、パブリックコメント等を経て作成している。市民ワークショップでの庁舎整備に係る計画づくりのキーワードとして、「子育て」や「教育」が抽出されているが、このキーワードを反映させた設計を考えているか。

答 ワークショップ等で「子供との息抜きと一緒に本を借りに行く」「放課後や長期休みに集中して課題などをする場所が欲しい」「バザーの準備等料理を作る場所が欲しい」などの多くの要望があったため、図書館、調理室及び学習室の設置を計画に反映している。

問 建築等入札は始良市内業者限定と考えているのか。

答 実施設計中であるため、設計業務が終了しなければ正確には答えることはできない。建築等に際しては、できるだけ多くの市内事業者が参加できるような入札にできないか考えていきたい。



蒲生庁舎にある蒲生のシンボル「御飯屋門」と「御飯屋犬槇」

その他の質問

- 水道について

市道等の維持管理状況

市長
要望・苦情数は7月末時点で276件



和田 里志
市政クラブ始輝



問 道路等に関する補修や除草に関する要望・苦情数と、対応を示せ。

答 市道等の維持管理に関する要望・苦情数については、7月末時点で276件である。ほとんどが緊急性の高いものであるため、業務委託料や重機借り上げ料、道路補修用資材により対応している。軽微な補修、草刈り等に対しては、主にシルバー人材センターから派遣されている作業班において行っている。

問 市の責任を問われ損害賠償を行った件数と金額を示せ。

答 過去5年間で行った損害賠償は、15件で91万4,171円となっている。損害の内容については、穴ぼこによるものが7件で、ほかが鋼製蓋の跳ね上げなどによるものである。



橋の欄干まで繁茂している雑草の様子

その他の質問

- 備品の管理



一般質問

市民目線で14人が市政を質す

ただ

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。



二次元バーコードをスマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継をご覧いただけます。



長年未利用地活用を

市長 土地利用を検討する



森川 和美

志成会



問 桜島スマートインターチェンジ近くの開発公用地は、場所・広さ抜群なのに長年未利用地だが、ホテル誘致及び市民広場に整備すべきだ。

また、職員駐車場として一部使っているが、現在の状況と、今後職員の駐車場確保は万全か。

答 本年4月、副市長を委員長とする「始良市土地活用調整庁内検討委員会」を設置し、この用地を含む公有地等に関して、地域活性化及び秩序ある土地利用を検討するよう指示している。提案いただいた件を含め活用等を検討する。

職員駐車場は、現在3か所で約130台分であり、全職員分の確保は困難である。



早期の有効活用を

建設業の2024問題

問 来年4月から建設業の時間外労働への上限規制が強化される。今後の発注の対応を問う。

答 公共発注者の責務として、安定的、持続的な公共投資の確保、働き方改革の推進を図る。

その他の質問

- 行政事務委託料



岩下陽太郎

あいら敬愛会



市長 寄り添いながら進める

視覚障がい者の総合的な外出保障を問う

問 視覚障がい者の外出保障（安全確保）を総合的に検討し、現状の問題点を踏まえた上で、次世代のまちづくりをすべきだが、本市の考えを示せ。

答 本市の地域自立支援協議会において、第3次障がい者計画の策定に向けての障がい者アンケート調査を実施し、外出時に困ることとして「歩道、道路、出入口に段差がある」が25.6%と最も高い課題となっている。このような課題を踏まえ、第3次障がい者計画に反映させるとともに、関係機関と連携を図り、市民に寄り添いながら次世代のまちづくりを進めていく。

問 同行援助の利用できる上限は何時間か。

答 本市における同行援助の上限は、国庫負担基準額の50時間を上限としている。



しっかりと整備された交差点

地方公共団体の課税権とは

市長 市条例で詳細を定め議決の必要性がある



小田原 優

市民くらぶ



問 固定資産税は現況課税・現地調査などにより判断するが本市の課税についての基本的な考え方を問う。

答 固定資産税は担税力を認めて課税するが、土地は現況課税と実地調査、家屋については固定資産評価基準に基づき課税している。

予算編成の問題と対策

問 道路管理悪化による賠償件数が増えてきているが、どのように考えるか。

答 道路維持管理については、道路を利用される方々の安全安心のため、予算の有効活用を行い、異常個所の早期発見、早期対策に努める。



市道陥没による損害賠償の事例

その他の質問

- 公共施設の最終的な管理者とは
- 高等教育機関設置に関する調査報告書



馬場 修二
あいら敬愛会



市長
共助により取り組む関係が
望ましい

自治会とコミュニティ協議会との関係性を示せ

問 校区コミュニティ協議会の目的は。

答 地域における、防災・防犯・福祉等の分野で抱えている地域課題を共有し、自治会より広い小学校区の範囲まで広げ、各種団体が連携し横断的に取り組み、市民が主体となった地域づくりを目的としている。

問 自治会・コミュニティ協議会・市はどのように連携すべきか。

答 自治会の課題は、まず校区コミュニティ協議会で共助により課題の共有・方策・協議・検討し、公助が必要な場合は行政と課題を共有し方策を検討する事が望ましい。

市としても継続して今後も活動支援を行っていく。



校区まちづくりプラン

その他の質問

- 条例公民館の運営

自治会の高齢者支援活動報告書は個人情報か

市長 個人情報に該当する



塩入 英明
市民くらぶ



問 高齢者支援活動報告書は個人情報の取り扱いになるのか。

答 自治会活動交付金の算定基礎となる高齢者支援活動に係る報告書において、対象者氏名と所属する班の2項目が報告事項であることから、個人情報の保護に関する法律第2条第1項第1号に規定する個人情報に該当するものと考えられる。



自治会長等便利帳

PFI事業の性能発注

問 PFI事業の性能発注について、水準達成の具体的な方法等は民間事業者の提案に委ねる性能発注を基本とすることと解釈しているが、本市の考え方を問う。

答 国の基本方針では「民間事業者の選定に当たっては、競争性を担保しつつ、総合評価方式、性能発注方式の活用など、PFI事業の態様に適した方法を採用するように務めること。」と規定されており、このことについても同感である。

その他の質問

- 認可地縁団体(自治会)



宇都陽一郎
市政クラブ始輝



市長
若者の声を施策や事業に
なげたい

あいら若者まちづくり会議

問 本市に所在地がある4つの高校や包括連携協定を締結している鹿児島高専に在学している生徒の意見を直接聞けるこの会議の現状を問う。

答 本年度は、7月25日と8月23日の2回実施した。1回目は「こどもまんなか社会」を、2回目は「若者目線で見ると始良市の観光」をテーマに意見交換を行った。



市長と高校生のタウンミーティング

切れ目のない子育て支援

問 国も大人中心の社会ではなく、子ども中心の社会へと政策を転換してきている。今後、本市も「こどもまんなか社会」の視点で政策を進めるべきではないか。

答 国も6月13日に「こども未来戦略方針」を閣議決定し、こども・子育て政策の抜本強化に取り組んでいくとしている。本市も国・県等との連携を図り、社会全体として状況や実情に応じた「子ども施策の立案や支援の充実」に取り組む。

その他の質問

- 新学校給食センター整備基本計画
- 自治会の加入率と現状

川内原発20年延長問題

市長 県に対して意見書を提出した



有川 洋美



問 川内原発はまもなく設計寿命の40年を迎える。20年延長稼働により、原発事故のリスクは高くなると考える。県または電力事業者に対して意見を述べる考えはないか。

答 県が原子力規制委員会及び九州電力に対して、川内原発に関する要請書を提出することから、本年6月中旬に本市は意見を求められ意見書を提出した。



40年稼働を迎える川内原発

新学校給食センター整備

問 市は新学校給食センター整備をPFI手法で行うことを示した。建設から運営まで民間に任せる手法であり、運営を15年間任せることとなる。このような手法で子どもたちの食の安全は守られるのか。

答 発注の際に要求水準書に要求内容を詳細に明記し、契約後は要求水準書どおりに業務を実施しているか監視、指導などを行う。安全で安心なおいしい給食を安定的に提供できるものと考えている。



新福 愛子

公明党始良市議団



市長

いく 校区の取り組みに協力して

8・11 空襲の日・平和の集いへの支援

問 2年後は終戦80年、集いも20回目を迎える。この節目に市としての支援を検討できないか。

答 集いの案内やボランティア募集など、広報紙や構築予定のLINE等を有効活用できるよう検討していく。また画像や文書等をデジタル化しアーカイブとして後世に残す必要もあり、市としても校区の取り組みに協力できると考える。



戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ集い

子ども消防・防災フェスタ

問 8月6日に開催されたフェスタの成果と展望を問う。

答 約2千名の来場者があり、有意義なイベントとなった。今後も自らの命は自ら守るという意識の高揚も図れるよう取り組んでいく。

その他の質問

- HPV（ヒトパピローマウイルス）が引き起こすがん撲滅

子どもの悩み相談

教育長 気軽に相談できる体制を整えている



竹下日出志

公明党始良市議団



問 本市では、子どもの悩み相談をどのように考えるか。

答 学校では、不安やストレスを抱えた子どもの情報をキャッチしたら、家庭や地域、関係機関と緊密な連携に努め、担任や養護教諭に気軽に相談できる体制を整えている。

問 子どもの相談対策に、GIGAスクール構想の1人1台タブレット端末を活用できないか。

答 不登校の子どもの心身状態の意思表示をする有効な手段として、本市では小学校5校、中学1校でタブレットの活用を検討している。



子ども相談に1人1台タブレットの活用を

その他の質問

- 心のサポーター養成
- 図書館サービス



菅峯 桜



市長
財政的に有利な補助事業等の活用を検討する

補助金を有効活用し、市道の拡張を

問 本市では、緊急時に消防車両が通過できないほど狭い市道が存在する。また、以前質問した「市道建昌・岡線」など、市民が拡張を希望している市道もある。国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、市道を拡張できないか問う。

答 過去に導入を検討したこともあるが、採択条件や、地域再生計画を策定する必要もあり、事業導入に至っていない。道路の整備については、引き続き、財政的に有利な補助事業等の活用を検討する。

補助金の専門部署設置を

問 国・県等が交付する様々な補助金のうち、本市が利用できる補助金を有効活用し、新たな事業につなげる担当部署が必要だと考えるが、新設することはできないか問う。

答 現行の体制をもって補助金等の有効活用に努める。



市道建昌・岡線

その他の質問

- 本市の広報

来年度介護保険事業計画 保険料の引き下げを

市長 現段階では考えていない



堀 広子



問 介護サービス利用料の2割3割負担の対象者拡大は、サービスの利用を控える方が出てくるのではないかと懸念する。

答 サービスを控える人が出てくることも想定される。世代内の公平性を確保し、制度の持続可能性を高める観点から協議されている。

問 高所得者の保険料負担についての検討状況は。

答 標準段階の多段階化、高所得者の標準乗率の引き上げ、低所得者の引き下げについて検討されている。

問 介護準備基金を取り崩し負担軽減できないか。

答 高齢者人口、認定者、給付費など含めて検討していく。

問 所得段階の細分化で負担の軽減できないか。

答 国も現在9段階からさらに増やすことを推奨しているので、協議していく。



負担軽減で安心の介護保険

その他の質問

- 高等教育費の負担軽減
- 安心して農業を続けられる支援策と災害復旧支援



益森 隆史

市民くらぶ



市長
市公式LINEの構築を行う

WEBを活用した広報は

問 公式LINEの進捗を問う。

答 新たな情報発信の構築に向けた検討などを行うため、若手職員25人による市内プロジェクトチームを立ち上げた。

これまでに3回のワークショップを開催し、ホームページの改善や市公式LINEの構築と活用などについて、様々なアイデアや意見を聴取し、具現化に向けた取組を行っている。

市道の状況は

問 道路改修に関する相談状況を示せ。

答 道路改修に関する相談は、簡易な補修を除いて令和4年度が20件、本年度が6件となっている。

対応が完了した案件は、令和4年度が6件であった。経過観察を含めて緊急性や重要性の優先順位を考慮しながら、予算措置に向けて検討していく。



始良市役所前の市道清掃を行う市職員

始良市森林・林業・林産業活性化議員連盟

始良市森林・林業・林産業活性化議員連盟は、森林・林業・林産業の活性化、国土の保全、農山村の振興の実現に努めると共に、国会の林業活性化議員連盟などと連絡を密にしながら始良市林業の発展に寄与することを目的として、始良市議会議員全員で構成しています。

8月1日に湯元市長、小山田議長、国生議員連盟会長は、林業大学校設置の要望書を塩田県知事に提出しました。

鹿児島県が設置を検討している「林業大学校」について、これまでの連携や交通至便の地域であることから、始良市蒲生町の「鹿児島県森林技術総合センター」に「(仮称)鹿児島県林業大学校」の設置を要望しました。



8月24日は柴立鉄平県議(森林・林業活性化促進鹿児島県議会議員連盟副会長)、本田しずか県議、県環境林務部森林経営課計画指導係長、技術専門員の4名を講師として招き「森林環境譲与税」「林業大学校」をテーマとした研修会を開催しました。

主な研修内容

○森林環境譲与税

森林環境税と森林環境譲与税は、温暖化対策パリ協定に基づいて、必要な財源を獲得するために法整備された。国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収するものが森林環境税で、譲与基準に基づいて市町村と都道府県に対して配分されるものが森林環境譲与税である。

県から市に森林環境譲与税が分配され、市は森林整備や人材育成等に活用する。県も森林整備・人材育成を行っているが、まずは市町村支援を優先している。

○林業大学校

林業では、多くを学んだ人材が必要とされている。

鹿児島県においては鹿児島きこり塾があり、14日間の研修後、現場で働くというものである。宮崎県、熊本県、大分県には年間約200日学ぶ制度の林業大学校があり、宮崎県における就業率は100%となっている。

【所感】

鹿児島県は林業大学校を設置する計画であり、これから県議会で議論することとなる。

多くの質疑もあり有意義な研修会となりました。林業大学校設置のためには官民の連携が重要であること、そのための取り組みを考える必要があると感じました。

議員連盟としては、今後も研修会を継続して開催していく予定です。

議会運営委員会

議会運営委員の構成は、3常任委員会から委員長ほか各1名、予算常任委員長、広報広聴常任委員長の8名の議員で構成されています。

議会運営委員会の権限は、議会を円滑に効率的に運営するための委員会で、議会運営の責任者である議長の諮問的な機関です。

10月3日～5日の議会運営委員会による行政視察を報告いたします。

視察先：茨城県取手市議会 テーマ：議会改革

○住民参画：市議と中学3年生が教室と議場で対話する「議会を知り、未来を語る」を実施。

議員が学校訪問し、教室で生徒と交流し生徒は街づくりの提言を議案としてまとめる。

代表生徒が模擬議会を開催し、可決議案は市議会としても各常任委員会で調査を実施する。

○ICTを活用した議会運営：タブレット導入、オンライン会議、AI音声認識システム、会議録視覚化システム、要約システム導入

【所感】

中学生議会で可決した議案を常任委員会で議論をするなど、市議と中学生が政治参画を共有し、開かれた議会である。

ICTを活用し「未来型地方公共団体議会」を目指していることに、その先進性を学ぶべきと感じた。



視察先：埼玉県川越市議会 テーマ：ハラスメント根絶条例

○発端：議会事務局女性職員から、議員によるセクハラ、パワハラ行為に対することに関し議長に申入れ、記者会見を行ったが、対象議員は否定。

○経緯：第三者委員会設置→倫理条例制定を提示→議員への報告会→職員へのアンケート→対象議員辞職

○条例：対象を議員と職員に特化。研修会の開催義務付け。ハラスメントが確認された場合、議員指名等の公表義務付け。条例制定後、ハラスメントは発生していない。

【所感】

ハラスメント(セクハラ、パワハラ等)の事実を議会全体で受け止め、ハラスメント根絶条例制定まで結びつけた川越市議会に敬意を表するところである。

始良市議会では市議会議員政治倫理条例を制定しているが、制度の見直しなど、今後議論を重ねる必要がある。



委員会レポート

報告会



議長を除く全議員は、3常任委員会に所属しています。各委員会でテーマに向けて、ミッションロードマップを作成し、市民との意見交換や調査研究に取り組んでいます。

6月議会だよりで紹介した所管事務調査内容を始良市議会として共有するために、9月6日に報告会を開催しました。今回初めて担当部署の方々にも参加いただき、ご意見、質疑等をいただきました。

総務常任委員会

「市民に優しいデジタル化」
石川県金沢市・加賀市

【報告のポイント】

- 両市共にデジタル化を遂行するための庁舎横断組織を立ち上げて対応。
- 加賀市でのシニアスマホアンバサダーを活用した高齢者のデジタルデバイド解消の取り組み。

【企画部の感想】

先進的な情報であり、非常に参考になった。「書かない・行かない市役所」やスマートフォンの活用等、アンテナを高く持ち情報をキャッチし、執行部としても取り組んでいきたい。

文教厚生常任委員会

「学校給食センター」
熊本県荒尾市・山口県周南市

【主な質疑】

教育部長：執行部も研修に行った自治体である。

今回、市が提案した計画の精査をされ、何か気になった点はあるか？

答：始良市の現状にあった提案であると感じている。

PFIの導入の考え方、仕入れのやり方、調理員の雇用、銀行と自治体がやり取りを行い事業者を監視していること等、研修によって確認できた。

産業建設常任委員会

「水産振興」長崎市
「林業振興」熊本市林業大学校

【主な質疑】

企画部長：長崎市が「さしみシティ」に取組む前と後の魚の売上額を教えていただきたい。

答：売上額は確認しなかったが、さしみシティプロジェクトに参加する民間企業は増えたとのことである。

【農林水産部の感想】

林業大学校については、議会からも県に要望していただき感謝している。県からは方向性は示されていないが、執行部も設置推進に向けて積極的に取り組みたいと思っている。



会派活動

報告



市民くらぶ

視察先：愛知県豊橋市・田原市
テーマ：PFI事業活用による給食センター整備
運用事業

市民くらぶ6名は、すでにPFI事業活用にて運用されている給食センターを視察した。それぞれが特徴ある給食センターとなっていた。

豊橋市は、空間設計に特化し、熱源も水蒸気を利用している。田原市は、28品目のアレルギー食品に対応しオール電化で調理している、両市とも安全な給食の提供を行っていることが確認できた。

始良市でもPFI事業にて学校給食センター整備運営を計画しているため、まずは先進地に学び、しっかりと調査・研究を続けていく。

市政クラブ始輝

視察地：兵庫県川西市、岡山県奈義町
テーマ：PFI方式による学校給食センター運営
子育て支援への取り組み

川西市の学校給食センターは、PFI方式で令和4年に供用開始している。施設の管理・運営及び衛生面など、本市が建設予定している学校給食センター事業の先行事例として大変参考になった。

奈義町は、妊娠から大学進学まで途切れのない行政の施策と町全体で子育てするという住民の応援体制がしっかり図られていると感じた。まさに「子育て応援宣言」の町である。

あいら敬愛会

視察先：宮城県仙台市・石巻市・富谷市
テーマ：ペット斎場、東日本大震災から学ぶ、子どもにやさしいまちづくり事業

仙台市ペット斎場の視察により、本市では既存の民間ペット斎場に委託するのが、現実的だという結論に至った。

石巻市震災遺構視察では、命運を分けたのは、マニュアルだけに頼らない状況判断が的確であったことが確認できた。

富谷市では子どもを中心としたまちづくりを目指し、独自の評価方法で毎年子ども目線のまちづくりができているかチェックしているとのこと、参考となった。

志成会

視察先：曾於市、熊本県八代市
テーマ：「動く市役所」の実態、デジタル化推進活動状況

曾於市では「動く市役所」として、ワゴン車を改造して、市役所のシステムと無線で結び、市役所に向くことなく各種証明書の発行、更に、健康相談も実施しており地域住民サービスに努めていた。

八代市では、市民にとって身近な市役所の窓口にもデジタル技術を取り入れている。例えば、住民票や印鑑証明書などを、オンラインで申請いただくと、郵送で届けている。

蒲生町漆地区

ふるさとの誇り

漆バラ踊り



漆小学校・校区コミュニティ合同運動会で披露

この踊りは、竹バラに紙を張ったバラデコと鉦を打ち鳴らして踊る。今日では、漆小学校で郷土教育の一環として、秋の運動会で披露されている。約30人で構成され後継者不足のため、児童が中心となり地域住民と一体となって取り組んでいる。

島津義弘公が戦に勝利し、その凱旋祝いとして踊らせたと伝えられている。



傍聴席へどうぞ

●場所/始良庁舎2号館 3階議事堂

●車いす席もあります。

議会日程や議会中継は、市ホームページでご覧いただけます。



※2号館のエレベーターは利用できません。

お詫びと訂正

前号No51、P15中段

【誤】1952年文禄・慶長の役



【正】1592年文禄・慶長の役

でした。

お詫びして訂正させていただきます。



表紙撮影者/川尻 宣博さん

編集後記

広報広聴委員になって、時間があつという間に過ぎていくのを痛感します。本市の議会だよりは全国でも珍しく、議員が取材・原稿の執筆から編集作業までを行っています。本格的な作業は、最終本会議が終わってから始まり、校了は次の会期が目前に迫ってきたころ。編集作業が終わっても、次の一般質問の締め切りに追われることが珍しくありません。そんなときに思い出すのが夏休みの宿題。8月の終わり、焦りが日に日に増していったあの夏が今でも蘇ります。暑すぎた夏、かごしま国体など下半期もいろいろありましたが、もう年の瀬。だいぶ冷え込んで参りましたので、ご自愛くださいませ。良いお年をお迎えください。

笹峯 桜

編集・発行責任者

議長 小山田邦弘

広報広聴常任委員会

- 委員長 峯下 洋
- 副委員長 有川 洋美
- 委員 桃木野幸一
- 益森 隆史
- 小田原 優
- 馬場 修二
- 竹下日出志
- 笹峯 桜
- 宇都陽一 卓郎
- 国生 卓郎